

## アンドワンダー

# アイテムを拡大 直営の出店も継続

アウトドアブランド「アンドワンダー」（製造・販売はT S Iホールディングスグループのアンドワンダー）は25年春夏、扱いアイテムを拡大し、ブランドの総合化を進める。国内の直営店開設も継続。海外への卸売りでは、新エリアでの取引先拡大を目指す。

（杉江潤平）

アンドワンダーでは、22年春夏からたき火台やタープなどキャンプギアの販売を始め、その後もテントやシュラフなど展開アイテムを広げてきた。25年春夏からは、ブランド単体では初

めてサンダルを導入。「ヴァイブラム」ソールを使ったストラップ付きのスポーツタイプとなる。1型の色、税込み1万9800円。登山用の小物も充実する。展示会では、カーボン



トレッキングポールやサンダルなどを新たに扱う

製のロゴ入りトレッキングポールや、専用グローブ、熊鈴と磁石付きの専用熊鈴入れなどを提案した。25年春夏コレクションは、デザインが北欧で見た氷河や山の景色から着想を得た。ライトブルーやピンク、ブラウン、ネイビーなどニュアンスのある色使いが特徴。他ブランドとのコラボレーション企画も続けており、シューズブランドの「アルトラ」や3シーズン目となる「グラミチ」などと協業品を出す。

販売施策では、国内では

直営店の新規出店を強化している。3月20日にキンザシックスに国内最大となる165平方メートルの直営店を出したほか、年内にはもう1店、出店を控える。直営店数は現在5店。海外への卸売りでは、欧米市場の取引先拡大はひと段落したため、経済成長の著しい東南アジアや中東、西アジアなどへの営業を強化している。

24年2月期のブランド売上高は、前期比25%増だった。中国、韓国をはじめとした外国人客の支持が高く、直営店に殺到する状況が続く。売れ筋は、ハリ感と撥水性がありワイドシルエットのカーゴパンツ（3万5200円）や、透湿防水の「パーテックスシールド」を使い、丸みのあるフォルムのレインジャケット（8万2500円）など。

韓国バッグ「ア

日本で、